

義之が退職してから始めたウォーキングは、半年近く経過した今、すっかり習慣になりきって歩いて、歩きながら考え事をすることもしばしばであった。今日は、途中で眼に入った何かに触発され

たらしく、頭の中で、三十八年の宮仕えを振り返っていった。文字どおり大過なく過ごした年月だったと思つた。華々しくやつても陰であまり良くないことに手を染めてきた仲間も見てきた。自分の場合、可もなく不可もなしだった。いや、こいつは公務員として理想的な年月だったかも知れないと思えてきた。いつものコースをたどつて戻り着き、自家の郵便受を覗くと何やら茶封筒が入っている。みるると、年金事務所からである。

口	「	か	と	を		以	て	業	い		い	た	出		資	出	番	と	と	
走	と	れ	な	調	回	外	ほ	に	な		合	結	さ	試	格	し	号	と	お	年
っ	な	て	っ	査	答	に	し	関	い		わ	果	れ	験	取	あ	、	り	金	事
た	る	あ	た	し	容	は	い	係	こ		せ	で	た	場	得	。	調	務	所	所
。	と	っ	記	ま	の	考	と	し	と		、	あ	に	に	・	査	か	ら	来	来
彼	、	た	録	し	覧	え	依	て	を		試	っ	入	つ	喪	確	ら	た	公	文
の	え	。°	は	た	に	ら	頼	い	知		験	。°	つ	て	失	認	ら	た	文	書
脳	っ		確	が	「	な	し	た	ら		場	そ	三	年	を	し	公	文	書	に
裏	、		認	、	管	か	た	も	さ		か	は	ヶ	月	ま	した	の	で	回	答
に	ま		で	申	轄	っ	の	あ	れ		し	、	月	間	の	た	っ	て	、	義
は	さ		き	出	事	た	の	っ	、		か	ら	の	賃	金	あ	っ	て	、	之
、	か		ま	の	務	。°	あ	っ	、		ら	ば	と	が	ど	っ	て	、	之	の
今	「		せ	事	所		っ	た	、		と	、	新	記	さ	れ	て	い	た	。°
朝	と		ん	業	保		た	。°	そ		新	設	事	間	れ	て	い	た	。°	
見	義		で	所	管		し	。°	の		設	事	局	、	て	い	た	。°		
た	之		し	で	等		た	。°	の		事	局	に	、	い	た	。°			
新	は		「	被	の		。°	。°	資		局	に	あ	、	た	。°				
聞	思		と	保	資		。°	。°	料		に	あ	た	、	。°					
記	わ		書	険	料		。°	。°	者		に	あ	た	、	。°					
事	ず		書	者	者		。°	。°	者		に	あ	た	、	。°					

